

情報公開用文書（単施設研究用）

西暦 2022 年 9 月 28 日 作成

（第 1 版）

研究課題名	当院における腎盂・尿管癌に対する治療成績の後方視的かつ網羅的検討
研究の対象	当院において、2013 年 1 月から 2025 年 3 月までの期間に腎盂・尿管癌と診断され、治療を行った患者さんを対象とします。20 歳以上で性別は問いません。
研究の目的	腎盂・尿管癌の治療は、手術療法として従来の腎尿管全摘に加え、低リスクであれば腎温存治療も選択肢となり、進行期の薬物療法においては既存の化学療法、免疫チェックポイント阻害薬に加え、抗体免疫複合体治療も新たに承認され、腎盂・尿管癌の治療選択肢が広がっています。本研究では、当院のデータをもとに、これら治療の有効性、安全性を後方視的に解析します。予後や副作用に関連する因子を探索し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	2013 年より 2025 年の間に治療された腎盂・尿管癌の予後及び治療ごとの非再発生存期間を比較する事により、予後予測因子の検討をします。 いずれも通常の診療で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	【試料】 上記期間に治療を受けられた患者さんを対象とし、後方視的に下記の日常診療で実施された項目を研究に使用します。 性別、年齢、既往歴、家族歴、入院期間、手術記録、合併症、血液検査、臨床病期、画像所見、病理組織診断、転帰など。
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との試料・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません（ので、当院外の機関が個人を特定することはできません）。
試料・情報の管理に ついて 責任を有する者	研究責任者：横浜南共済病院 泌尿器科 佐野 太

